

やまが 市議会だより

第16号

平成30年 2月1日
発行／山鹿市議会



もくじ

議会報告会を開催	p2
行政視察報告・定例会会期日程予定表	p3
常任委員会審査と報告	p4～6
市政のここが聞きたい	p7～12
審議した議案と結果一覧・主な議案	p13
議会の主な動き・人事案件他	p14

 祝 創立120周年(統合50年) 記念
伝統のたすきを繋ぎ、ここに咲け
熊本県立鹿本高等学校

鹿本高校創立120周年・統合50周年記念文化祭
(創立120周年記念アイテム「絆マフラータオル」)

議会報告会を開催！

9月27日（水）に議会報告会を山鹿市民交流センターで開催しました。
今回はスライドを使い、よりわかりやすい説明に努めました。

22名の方にご参加いただき、報告内容に関連する質問・意見のほか、普段の生活からの市政や議会に対する様々な意見・要望をいただきました。ありがとうございました。

その中で今回、アンケート結果の一部をご紹介します。なお、質問・意見・要望につきましては、次号にて掲載する予定です。

【アンケート結果】

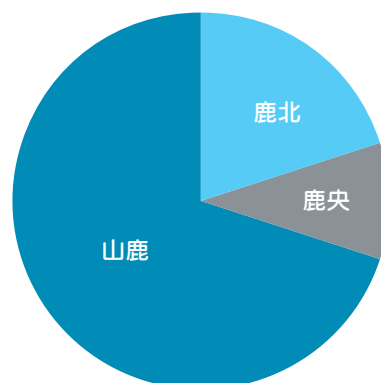
アンケートにも様々な意見が寄せられました。

- ▶ 参加者が少なく残念。今回の説明は委員長だけでなく、一年生議員からの説明があり新鮮でよかったと思った。次回の報告会には多くの人に参加されるよう事前のPRをお願いしたい。
- ▶ 本日は各議員の一人一人顔を拝してのこの機会は何よりよい経験となった。ふるさと、地元愛がないわけではないが、もっと市民の声が近くなればいいと思う。
- ▶ 同じ時間に他の会議に出席していたため、質疑応答の時間からしか参加できなかったのも、次回あるときは最初から参加したいと思う。報告会の告知（お知らせ）は同日のみか。広く市民の皆さんに知らせてもらえればと思う。議会も一度傍聴してみたい。
- ▶ スライド資料を手元にはほしい。口頭で数字を言われても理解しにくい。もっとカジュアルな報告がいい。ミーティング形式とか。
- ▶ 初めて報告会を聞かせていただいた。よければ旧市町で開催していただきたいと思う。
- ▶ 意見に対し「行政に伝える」だけでなく、委員会としての意見を。
- ▶ その他

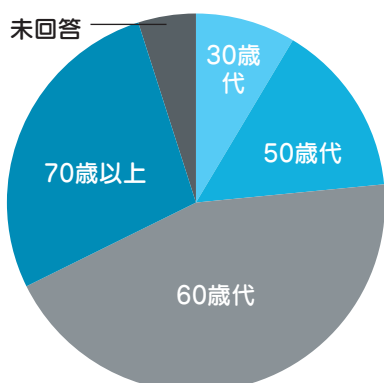


議会報告会（山鹿市民交流センター）

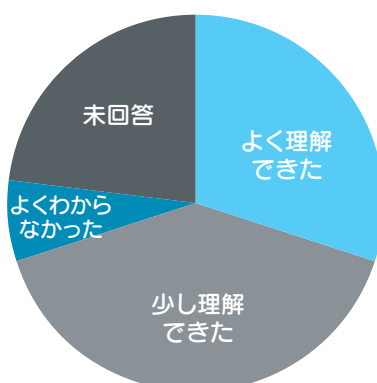
お住まいの地域



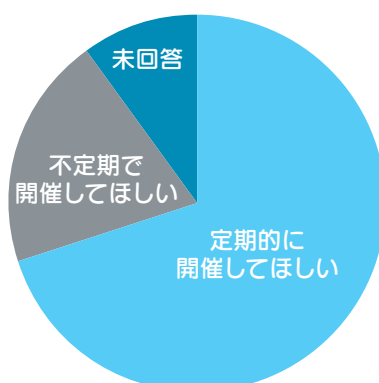
年齢



内容について



今後について



「行政視察報告 ～先進地研修を終えて～」

議会運営委員会 平成 29 年 10 月 4 日～ 10 月 5 日

【広島県三次市及び世羅町】

三次市議会では、議会基本条例の検証及び議会報告会の研修を行った。

基本条例の検証は、各条文ごとに 4 つの評価を行われていた。評価方法は各会派で評価し、それを議会運営委員会で取りまとめておられた。その成果は、条例改正や常任委員会での自由討議の取り組みにつながったということである。

議会報告会は、議員を 4 班に分けて 21 カ所を回り、12 月定例会から 9 月定例会で議論になった案件等を報告されている。参加者数は約 400 人。報告のしっ放しではなく、報告会の取りまとめを行い、次にどのように生かすかを検討することが大事であると話された。本市の運営方法として大いに参考となった。

三次ワイナリーでは、垣根栽培にもかかわらず屋根をつける栽培方法が品質管理に一番良かったということと、生産農家の面積と本数を保障することで、量よりも良いブドウを収穫する工夫をしていることなどの説明があった。

せらワイナリーでは、ブドウの品種選択は最終的なターゲットをどこに置くか考える必要があることと、自社農園を持たずに契約農家から購入されているなどの説明があった。

どちらのワイナリーも地元農家を中心に置き、地元の農業振興に大きく貢献されている会社であり、本市のワイナリー事業の取り組みに大いに参考になった。



広島県三次市

2018年(平成30年)定例会の会期日程予定表

	3月定例会		6月定例会		9月定例会		12月定例会	
開 会 日	3月 2日	(金)	6月 1日	(金)	8月30日	(木)	11月29日	(木)
質 疑・一 般 質 問	3月 8日	(木)	6月 8日	(金)	9月 5日	(水)	12月 5日	(水)
質 疑・一 般 質 問	3月 9日	(金)	6月11日	(月)	9月 6日	(木)	12月 6日	(木)
建設経済委員会	3月12日	(月)	6月12日	(火)	9月 7日	(金)	12月 7日	(金)
市民福祉委員会	3月13日	(火)	6月13日	(水)	9月10日	(月)	12月10日	(月)
総務文教委員会	3月14日	(水)	6月14日	(木)	9月11日	(火)	12月11日	(火)
閉 会 日	3月19日	(月)	6月19日	(火)	9月14日	(金)	12月14日	(金)

【注意事項】

- ※年間予定ですので、市の行事、市長会・議長会等の公務、委員会委員の日程調整によって変更となる場合があります。
- ※委員会傍聴の場合、各委員会とも先着12名となります。
- ※各委員会においては、午前もしくは午後に市内の現場を見る現地調査(傍聴者の同行不可)が予定されることがあります。事前に議会事務局(電話43-1634)へ日程のお問い合わせをお願いします。
- ※必要がある場合は、予定表の定例会以外に招集される議会「臨時会」が開催されます。

常任委員会審査と報告

◎は委員長
○は副委員長

※委員会の審査報告は、本会議での委員長報告に基づいて、広報委員会で作成したものを掲載しています。

12/12
開催

総務文教 常任委員会

◎寺崎 勇児 ○富丸洋一郎
池田 誠一 吉本 政幸
藤本 峰秀 勢田 昭一
小川 榮二

◆付託案件

議案6件…承認・可決

平成29年度 一般会計補正予算
就学援助費について

問

就学援助費（新入学児童生徒
学用品費）を支給する対象者を
どれだけ見込んでいるのか。

答

本年度までは、就学後に支給
していたが、就学前に支給する
こととした。来年度の小学校新入生
は、447人。中学校新入生は450
人である。そのうち支給対象者は、生
徒数の20%を見込んでおり、それぞ
れ90人を予定している。

公の施設の指定管理について

問

八千代座等の指定管理の目的
と期間決定の基準はどうなっ
ているか。←

答

平成15年の地方自治法改正に
伴い導入され、「民間能力を活用
し、住民サービスの質の向上を図るこ
と」を目的としている。その期間につ
いては、地方
自治法に規
定はない。
本市では効
果的な業務
運営、効率
的な施設管
理とともに
適正な競争
性などの観
点から、3



八千代座

入学前に就学援助費を支給へ

問

山鹿市カルチャースポーツセ
ンターの管理範囲はどこまでか。

答

公道から敷地内に入った時点の
駐車場から、体育館、野球場など
を園内道路まで全て含まれている。

問

山鹿市民プールの指定管理者
に、2社から応募があつてい
る。その選定基準はどうなってい
るのか。←

答

施設ごとに設定した審査基準
により、選定委員会で選定する。
選定委員会は、学識経験者（現在は、
大学教授1人・公認会計士1人）、副
市長ほか市の職員で構成している。選
定にあたっては①書類審査②プレゼン
テーション③運営・コスト面④自主事
業などで決定している。

年を基本とし、施設の目的等から継続
的管理が望まれる場合は、5年間と設
定している。

現地調査

○鹿本幼稚園（鹿本町来民）

就学前の児童に幼児教育と保育を一
体的に行う認定こども園予定地（現鹿
本幼稚園）を視察した。平成31年4月開
園に向けての設計計画や、入園の要件な
どの説明を受けた。

○山鹿小学校（山鹿市山鹿）

平成32年の新学習指導要領により、
外国語を5・6年生で70時間、3・4年生
で35時間の授業が始まる。その前段とし
て英語教育を実践している、山鹿小学
校6年生の外国語（英語）の授業を参観
した。



山鹿小学校「英語授業」

市民福祉 常任委員会

12/11
開催

◎服部 香代 ○平井 邦廣
芹川 正美 北原 昭三
有働 辰喜 芋生よしや

◆付託案件

議案6件：可決

平成29年度 一般会計補正予算

障害者福祉費の就学前の発達支援、小学校から高校までの放課後等デイサービス増加による障害児通所等給付費を増額する補正予算について

問 支援が必要な子どもたちが、増えたというのはどんな状況なのか。

答 保護者の方が、保育園などの関わりもあって、低年齢のうちに子どもの状況に気づき、認定を受け早めの支援を望むなど意識の高まりもあって、要支援者が増加している。

児童福祉総務費の子ども医療費助成事業 見込みよりも利用件数が上回るなどの増額補正予算について

問 流行性疾病などによる増加なのか。

答 流行性疾病はつかんでいない。早めの受診、院外処方などで、

増加したもの。

問 15歳以上の助成見込額はいくら。補正後の金額はいくらか。

答 2876万円、利用件数1万1000件。補正後の総額は2億1530万円である。

公の施設の指定管理者の指定について

(山鹿市薄尾斎場)

問 指定管理者が富山県の会社と遠方だがなぜか。

近隣で同社を指定している所があるか。これまで問題があったことはないか。また、雇用はどうなっているのか。

市民サービス低下にならないよう 技術・経験値の要件を確保

答 公募を行った結果、(株)五輪1社が応募した。

近隣では、熊本市斎場、類似施設では鹿児島県鹿屋市、愛媛県八幡浜市などが指定している。

山鹿市では、平成8年から19年は火葬業務委託。平成19年から29年に同社が指定管理業務を受注している。その間支障があったことは聞いていない。雇用に関しては、地元から3名と受付1名を正職採用し、退職まで雇用されている。



薄尾斎場（鍋田地区）

問 特殊な仕事なので資格が必要か。指定管理料はいくらか。利用者、市外からもあるのか。利用代金はどこに入っているのか。

答 会社内研修での資格となっている。

平成25年から29年の期間は、1年間で1645万7142円。一部市外（割り増し料金）からの利用もある。利用料も含めた指定管理料となっている。

問 金額が大きいので、資格要件が不要であるならば、県外ではなく市内から募れないのか。

答 一定の要件がクリアできれば可能であるが、市民サービスを低下させられないので、技術、経験値が必要である。



廃棄物処理施設建設工事現場（石地区）

現地調査

○廃棄物処理施設建設工事現場

工事の進捗状況を確認した。

○薄尾斎場

トラブルがあつていた空調設備の室外機の状態、その後の対応なども確認した。

○癒しの森 ゆくかむ

施設譲渡後の施設整備の状況を確認した。

建設経済 常任委員会

12/8
開催

◎永田 紘二 ○富田 弘海
横手 啓介 堀 茂幸
藤原 豊 立山大二郎

◆付託案件 議案13件…可決

山鹿市6次産業化・観光連携推進施設
条例について

問 条例案で、「業としての撮影等が禁止」とあるが、取材等はできないのか。

答 山鹿市が主体的に協力できる映画や情報番組であれば一緒に行う。情報発信に支障がないよう、運営規定なども定めていく。

公の施設の指定管理者の指定について

問 指定管理期間の3年と5年の違いは。

答 基本は3年だが、施設状況によって判断を加味して5年としている。

問 公募の方法は。

答 募集要綱や仕様を市で作成し、インターネット等で行っている。

問 指定管理料はどのように算出しているか。

答 過去3年間の実績などから、安定的に運用できる金額を算出している。上限の基準額とご理解ください。

問 さくら湯の基準額が上がっているのはなぜか。

答 さくら湯再生から5年が経過し、給湯設備等のメンテナンスが必要なため。

道路整備事業予算の総額確保等に関する意見書の提出について

「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定による補助率のかさ上げ措置が平成29年度末で切れるため、平成30年度以降も引き続き現行制度を継続することを求め、地方自治法第99条の規定による意見書を提出することを、原案の通り決した。

平成29年度一般会計補正予算

問 今回改修する山鹿小学校運動場のスタンドは、改修後の部署で管理するのか。トイレ整備も必要では。

千人灯笼踊り会場・常設スタンドへ！

答 商工観光課が所管し、まつり以外の利用については、小学校等と相談をしながら有効活用を図る。トイレ整備については、今後関係課と協議していく。

問 有料の特別観覧席（仮設スタンド）は、現在1500席程度設けられているが、最終的には今回改修するスタンドへ全て移行されるのか。

答 灯笼まつり実行委員会での協議が必要だが、将来的には改修を終えたスタンドへ移行した方が費用面からもベストだと考えている。なお、平成30年は移行期間として特別観覧席を1000席程度設置する予定。



山鹿小学校既設スタンド

現地調査

○屋外運動場既設スタンド改修工事（山鹿小学校）

改修工事が予定されている運動場南側から大宮神社側の既設スタンドを視察。より安全かつ良好な環境で千人灯笼踊りを楽しんでもらえるよう設備。日頃は学校行事や地域のレクリエーションなどに有効活用される。席数は931席、予算額は総計7400万円程度。工期は平成30年2月から7月の予定。

○上久野団地汚水処理施設工事（鹿央町上久野）

水洗化が済んでいない市営住宅。今年度中に浄化槽を設置。全体額では3億6000万円程度（1/2補助対象）を予定。



上久野A団地汚水処理施設工事現場

市政のここが聞きたい！



こちらの
QRコードからご覧いただけます。

インターネット録画配信をご覧いただけます。

山鹿市
ホームページ

→ 市議会
一覧

→ 定例会の
様子

の順にクリックしてください。



芋生 よしや 議員

市民要求実現について

質問 市民が要望しても「財政が厳しいとなかなか取り組んでくれない」との声がある。

県内14市でも4番目に多い70億円財政調整基金を活用して、市民の要望に応え、住民の福祉の向上を図るべきではないか。

教育予算では、好成績を上げた中体連駅伝だが、県駅伝試走への補助が廃止されたため、試走費用は、各学校が協賛金や資源回収などで、大変苦勞して捻出している。必ず行うという試走費（今回は約16万円）の補助はすべきではないのか。

答弁 教育長

試走は、練習で培った力を最大限発揮するために大変重

要なことである。一方で様々な部活動を公平に支援するうえで、補助金は交付要綱に基づいた厳正な運用が必要である。

市職員の長時間労働について

質問 近年過労死が問題になっているが、出退勤管理による労働時間が1カ月80時間を超える職員や、最多で過労死ラインを超える148時間という職員もいる。極めて危険な状態。是正を図るべきではないか。

答弁 市長

高度化・多様化する業務に、能力を発揮するためには、健康の保持・増進は不可欠。仕事と生活の調和が、心身のリフレッシュを促進し、士気を高め公務能率を向上させるとの観点から、一斉定時退庁日の推進や業務効率化を図っている。

また、職員にコスト意識を持たせ、時間外勤務に対する意識変革を進め、長時間勤務の縮減に可能な限り努めていく。

上記質問の他に、読書活動推進委員、公民館自主講座、地域自治振興交付金、国民健康保険税なども取り上げた。

熊本県14市の平成26～28年度財政調整基金一覧表(地域抜粋)

	平成26年度 財政調整基金	平成27年度 財政調整基金	平成28年度 財政調整基金
熊本市	101億円	101億円	71億円
八代市	35億円	35億円	21億円
山鹿市	57億円	69億円	70億円
天草市	136億円	131億円	137億円

	平成28年度		
	人口	財政調整基金	基金総額
熊本市	74万人	71億円	171億円
八代市	13万人	21億円	95億円
山鹿市	5.4万人	70億円	147億円
天草市	8.6万人	137億円	190億円



富田 弘海 議員

合併特例債の有効活用について

- 質問** ①合併特例債の発行期限が、平成 31 年度までと期限が迫っているが、これまでの発行状況、今後どのような事業を予定しているか。
②合併特例債の発行期限終了後も恩恵を受けられる基金を造成しての活用は考えていないか。

答弁 総務部長

- ①合併から平成 29 年度までの 13 年間における合併特例債の発行額については、117 億 6570 万円と見込んでいる。また、平成 30 年度及び平成 31 年度については、一般廃棄物処理施設整備事業、学校規模適正化事業、カルチャースポーツセンター整備事業等への活用を予定している。
②山鹿市の場合、最大で 30 億 9440 万円の基金造成が可能であるが、今後の地域振興策のあり方、中長

期の財政規律の確保、財政健全化指標への影響等を総合的に勘案し判断していく。

防犯灯(すずらん灯)のLED化について

- 質問** すずらん灯を LED 化することで、経費・環境・機能的な側面から数多くのメリットがあると思うが、市長の考えを伺う。

答弁 市長

防犯灯の重要性については、地域の安心・安全な暮らしに欠かせない重要な社会インフラの一つであると考えている。

すずらん灯については、設置後 30 年が経過し、老朽化による取り換えが必要となっていること、また、少子高齢化と過疎化の進行により、防犯灯の負担も年々重くなっていくと見込まれることから、電気代の安い LED へ随時更新していく。



すずらん灯



池田 誠一 議員

超高齢化社会を迎えるに当たり、受け皿施設の対応について

- 質問** ① 65 歳以上及び 75 歳以上の高齢者数と、その高齢化率及び特別養護老人ホームの入所申込者の状況は。
②入所申込者に対する市としての施設整備の方針は。

答弁 福祉部次長

平成 29 年 10 月末現在、65 歳以上は 1 万 8741 人で高齢化率は 35.3%で、75 歳以上は 1 万 462 人である。また、特別養護老人ホームは、6 施設でその申込者は 416 名となっている。これから当市としては、新たな施設の整備は行わず、老健施設、小規模多機能事業所やグループホーム、軽費老人ホーム等で対処していく所存である。

教育行政について

- 質問** ①学校規模適正化事業（八幡小、平小城小、三岳小）3 小学校の再編計画で進捗状況は。

- また、これまでの統合された学校で合意を得た後、開校までの期間はどれくらい要したか。
②放課後児童クラブの利用児童数と、特別な支援を要する児童の受け入れについて。

答弁 教育部長

- ① 10 月 31 日に地域代表等で構成された 3 小学校の統合準備委員会が開催され、3 小学校を現八幡小の場所で統合することについて合意を得た。一方、開校に向けた協議や施設の整備期間の必要性から開校時期の延期が確認された。また、合意の後の開校までに要する期間はおよそ 3～4 年を見込んでいる。
②現在、16 クラブで 603 名の児童が利用している。そのうち、特別な支援を要する児童、計 36 名を受け入れている。これから放課後児童支援員のスキルアップや、支援員の数も支援を要する児童 5 名に対し 1 人の支援員を配していたのを、平成 30 年より児童 3 名に対し 1 名の支援員を配していく。



小規模多機能ホーム たけま

市政のことが聞きたい(2)



勢田 昭一 議員

公共施設について

質問 ①公共施設の数と床面積、また老朽化している施設を問う。(30年以上経過している建物はどれくらいあるか)

答弁 総務部長

本市が保有する公共施設の数と床面積は、計画の基礎とした平成28年10月現在、263棟、総延床面積約34万3千㎡。このうち、建築後30年以上を経過している施設の床面積は48.4%を占めており、さらに全体の約4割が現在の耐震基準に見直される前の建物である。

オリンピック・パラリンピックについて

質問 ②本市出身の選手は何人いるか。その大会・種目と成績を問う。

答弁 教育部長

1人目は、石出身の戸上研之選手。1936年第11回ベルリン大会陸上競技走り幅跳びに出場された。

2人目は、菊鹿町出身の青木行義選手。1952年第15回ヘルシンキ大会、水泳競技1500m自由形、1956年第16回メルボルン大会では7位。2回連続出場された。

3人目は、菊鹿町出身の青木まゆみ選手。1972年第20回ミュンヘン大会に、水泳競技100mバタフライ優勝、200mバタフライ8位、400mメドレーリレー6位。

4人目は、鍋田出身の生長奈緒美(旧姓小井手)選手。視覚に障害をお持ちで、パラリンピックの選手として、2008年第29回北京大会50m自由形5位、2012年第30回ロンドン大会50m自由形8位、100m自由形8位、400m自由形6位。2016年第31回リオデジャネイロ大会と3回連続出場された。

1976年第21回モントリオール大会のハンドボール競技に、当時の立石電機、現在のオムロンハンドボール部から5名が出場し、5位の成績を収められた。



カルチャースポーツセンター(山鹿市総合体育館)

上記以外に①公共施設の維持・修繕費②児童生徒の活発なスポーツ・文化活動への支援などを質問した。



服部 香代 議員

公園の維持管理等について

質問 ①遊具やベンチ等の施設の点検の状況及び記録はどうしているか。今後は防災ベンチや防犯カメラ設置等、防災・防犯の視点をもって施設の更新を考えているか。

②100カ所を超える公園があるが全てに共通する維持管理計画の策定を求める。

答弁 建設部長

①施設全般の安全確認を年1回以上行っている。修理や撤去は都市公園の長寿命化計画等に基づいて行う。また、防災等の観点は必要だと考えている。

②管理マニュアル策定等は関係各課と協議を進めたい。公園施設点検台帳の整備や遊具に緊急連絡先を掲示する等、安全、安心な住民サービス向上に努める。

車泊の導入について

質問 IoTを活用した車泊は周遊型、滞在型の観光の掘り起こしとなる。災害時の避難場所としても利用できる。道の駅などの有効活用として導入を求める。

答弁 経済部長

宿泊者のニーズ、観光関連業者、地域住民等の意見を踏まえ総合的に判断していく。

菊鹿ワイナリーの目指すものについて

質問 施設全体のコンセプト及び開発商品の進捗状況を問う。また望ましい指定管理者の要件をどう考えているか。

答弁 経済部長

菊鹿の自然を生かし、ここにしかないモノや体験ができる非日常的な空間の創出を目指す。商品も地元産物を生かした上質なスイーツ等を開発中であり、製造事業者等との協議を進めている。指定管理者についてはコンセプトを十分に理解し、官民一体的に連携運営ができ、市内の他の観光施設との周遊促進を積極的に図ることができる点を勧誘して選定していきたい。



鹿校通公園

※IoT…「Internet of Things」の略で、様々な「モノ(物)」がインターネットに接続されること。



芹川 正美 議員

山鹿市の農業振興(米政策)について

質問 減反廃止に伴う現況、周知や収入保険の内容及び情報発信について

答弁 経済部長

これまで農家ごとに米の生産量を割当て米価の安定や米需給の均衡を図ってきた生産調整及び米の直接支払交付金を平成 30 年度から廃止する。周知については、山鹿市農業再生協議会で申請時等やチラシにより行っている。今後の情報発信についても需給見通しを受け、市農業再生協議会で方針等を確認し、農業者に米の生産目安を伝えていく。

収入保険は、農業経営ごとの収入に対するセーフティネットとして自然災害や価格低下などで基準収入の 9 割を下回った場合にその額の 9 割を補てんする制

度で、平成 31 年度から実施される。青色申告を行っている農業者が対象で、他の農業共済などと重複はできない。

実施主体は農業共済団体が設立する全国連合会で説明会など周知を行っている。

今後も連携しさらなる情報発信を行っていきたい。

質問 今後の米政策（P R 支援、組織支援）について

答弁 経済部長

日本遺産の認定を受け、流域市町村との連携した米に関連した施策や福岡等都市圏での物産展等を通して引き続き P R を行い販売促進につなげる。

農業者の高齢化や減少に伴い集落営農組織の重要性が増している中で、組合や法人の立上げや農地集積、機械導入などに対し、県の補助事業等を活用し支援していきたい。



番所地区の棚田



北原 昭三 議員

交通弱者対策等について (あいのりタクシーの利用拡充について)

質問 山鹿チヨマツ号の増便について、また、バス停から 500 m 以内の利用制限の緩和についての運行拡充をどう図る考えか伺う。

答弁 市民部長

増便については、路線バスの利用実態の把握に努める。バス停 500 m 以内の利用制限の緩和に関しては、今後も関係部署と連携して検討を行うと共に、新たに創設する「山鹿市地域公共交通活性化協議会」において、現状と課題を整理し、市民をはじめバス事業者、国・県の関係機関、公共交通の専門家と共に協議していく。

投票率向上のための取り組みについて

質問 低投票率の原因をどのように把握し、今後どのような工夫のある取り組みを行っていくか見解を伺う。

答弁 選管事務局長

全国的に投票率は低下傾向にあり、様々な要因があると思われるが、特に若者の政治離れにあると思う。

投票率向上に向けての取り組みとして、若者層向けには、実際に模擬投票を経験していただき、先入観を和らげ、投票への参加意欲が湧くことを目的とした出前授業を今年度から各学校に呼びかけている。今後も学校で行われる主権者教育と連携して取り組んでいく。また、選挙が身近なものとして感じられ、投票意欲の向上が図られるよう努めていく。



選挙のめいすいくん

持続可能な開発目標(SDGs)の取り組みについて
背景には「誰ひとり取り残さない」という強い思いがある。

質問 山鹿市における持続可能な開発目標(SDGs)に向けた、市長の考え、今後の取り組み方針について伺う。

答弁 市長

SDGs は、国連で国際合意された 2016 年から 2030 年度までの世界の長期目標。

自治体レベルの取り組みには、義務的・包括的なものとして国の実施方針を受けて行政の責務として推進するものと、自主的・選択的に行うものがある。本市においては、可能な取り組みを着実に実施することで、持続可能な開発目標の達成に寄与していく。

上記質問の他に、住宅用火災警報器の設置状況等について質問を行った。



永田 紘二 議員

地域公共交通対策について

質問 少子高齢化・過疎化等によりバス離れが進む中、なくてはならない地域公共交通だが、路線バス利用者は減少し、あいのりタクシー利用者は増加している。今後、市の持ち出しが増える可能性があるが、戦略はあるのか。

答弁 市民部長

平成 28 年度、約 1 億 5200 万円を補助した。今後、「山鹿市地域公共交通活性化協議会」を創設し、市民、交通事業者、公共交通の専門家、行政が参加し、公共交通のあり方の基本方針を明らかにしていきたい。

合併特例債について

質問 合併特例債のこれまでの活用実績と今後の計画、また、計画内容の変更について

答弁 総務部長

これまで、市庁舎建設事業、各総合支所再編整備事業、防災行政無線施設整備事業、地域情報通信基盤格差是正事業、合併支援道路整備事業などに活用し、本年度末までに 117 億 6570 万円の発行を見込んでいる。合併後 15 年間の発行上限額は 165 億円を基本とし、整備が必要な事業に活用を図る。

答弁 市長

一般廃棄物処理施設整備事業や菊鹿ワイナリー構想推進事業など、当初想定していなかった行政需要に対応している。学校規模適正化推進事業が当初計

画から大幅に変更になった責任を真摯に受け止め、今後はより一層職員と一体となって着実な進行管理に努める。

小中学校の統廃合計画の進捗状況について

質問 学校規模適正化基本計画（第 2 次計画）の進捗状況と今後の見通しを伺う。また、計画どおりに進んでいない現状について見解を伺う。

答弁 教育部長

第 1 次計画の進捗状況を踏まえ平成 31 年度までの計画である。米野岳中校区 4 小は、旧米田小の位置で本年 4 月に開校。鹿本地域 3 小は、来民小学校の位置で開校目標を平成 32 年 4 月に延期。八幡小・平小城小・三岳小は事業着手が遅れていたが、3 校区の代表者等による統合準備委員会で統合校の位置を八幡小学校とし、開校目標年度は当面延期することが確認された。鶴城中と山鹿中は、平成 31 年 4 月に鶴城中を山鹿中へ編入する計画を進めている。

答弁 教育長

P T A や地域住民へ説明を行い十分な理解を得て事業を進める過程で、時間を要していることに対して深くお詫び申し上げる。これまでの反省を踏まえ、組織連携をより密にし、説明責任を果たし、計画的に事業を進めていきたい。

上記質問の他に、学習指導要領の改訂について質問を行った。



答弁 建設部長

滞納状況については、高額滞納者は 16 名で最高額は 78 カ月分で 161 万円。平成 28 年度決算で滞納繰越額は、8520 万 2000 円となっている。

徴収の取り組みについては、1 カ月の滞納者には督促状を発送し、2 カ月以上の滞納者には催告状を発送し、応じない場合には呼び出し面談を実施し、納入誓約書の提出を求め、納入状況の確認・指導を行っている。連帯保証人に対しても呼び出し面談し、滞納者への納入指導を促している。長期滞納状況にならないように職員による戸別訪問をし、徴収を行っている。

収納率向上のため、「重要」のスタンプを封筒に押印するなど意識づけを図っている。徴収によるトラブル発生時には、複数人で対応するなど職員の安全確保に努めている。



富丸 洋一郎 議員

住宅使用料の滞納の現状と徴収の取り組みについて

質問 滞納が生じる要因は数多くあるかもしれないが、滞納は公平の原則に反する。現在の高額滞納者数、最高滞納額、繰り越し滞納額について伺う。



立山 大二郎 議員

小中学校の教育環境について

- 質問** ①教室備品と配布ランドセルのサイズは
②校務系システムと教職員の働き方改革は
③ダブルリミテッドの子どもたちの支援は

答弁 教育部長

- ①机・椅子は買い替えの必要性を各学校で判断してもらい、計画的に対応する。贈呈ランドセルは、教科書サイズの変化に対応する新規格の導入を検討中。
- ②教職員の事務作業負担を減らし、児童生徒と触れ合う時間を創出するための校務支援システムの導入について調査研究を進める。
- ③日本語力が不十分な児童生徒は市内にも数名おり、平成28年度は約264万円を充て、特別支援教育支援員を1名配置をするとともに、NPO法人に日本語指導を委託。

観光立市に向けた取り組みについて

- 質問** 観光産業の競争力強化に向けての山鹿版DMO設立の進捗状況は

答弁 経済部長

地域の「稼ぐ力」を引き出すための確かな戦略を持った組織として、オール山鹿で「山鹿版DMO」の形成が必要。核となる人材の育成・確保に取り組む。

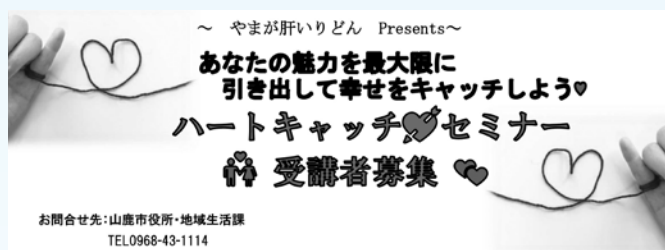
移住定住支援について

- 質問** ①結婚支援事業は
②住環境の支援は

答弁 市民部長

- ①「やまが肝いりどん事業」によりこれまで20組が結婚。セミナーやイベントの効果により順調に推移している。
- ②改修工事費用の一部等を支援する「空き家バンク活用促進」と「三世帯同居住宅支援」の補助制度がある。今後もSNSや移住定住総合相談窓口、移住相談会を活用し情報発信に努め、移住定住促進につなげる。

上記質問の他に、公共施設の予約手段についても質問を行った。



有働 辰喜 議員

スクールバス運行費補助金について

- 質問** 今年度のスクールバス運行予算は小学校4校で5820万9000円、中学校2校で685万8000円の合計6506万7000円を計上している。当然国の国庫補助や、地方交付税の交付措置を受けての予算編成と思うが、市では今、鹿本地域、八幡・平小城・三岳3小、山鹿中・鶴城中の統廃合が進行中であり、今後運行費負担が増加し、それが継続する。そこで仮に山鹿市の財政悪化、国の補助金、交付税算入が減少した場合でも保護者負担を求めないで欲しいがどうか。

答弁 教育部長

現在、非常に広い範囲で国の支援を受けており、今後も補助金制度や交付税措置がなくなることは想定していないが、仮に無くなっても自治体の責務として遠距離通学対策を講じていく。

スクールバス（めのだけ小学校）



小学校統合について

- 質問** 小中学校規模適正化事業の目的は統廃合でなく、児童生徒の教育環境の整備だと思う。その観点に立てば、平小城小・三岳小は鹿北小と統合すれば問題点の早期解決が図れるがどうか。

答弁 教育部長

平小城小の複式学級解消が喫緊の課題ではあるが、10月末に八幡小学校を統合校位置とすることに地域の同意が得られたので、八幡・平小城・三岳各小の基本枠組みで進める。

- 質問** 第2次基本計画では既存施設を活用して統合事業を推進する方針で当然鹿本小学校も当初はその予定であったと認識しているが、新築に計画変更となっている。どういう経緯で新築になったのか。

答弁 教育部長

建物の老朽化を評価する構造耐力度調査において、補助事業で建て替えの対象となる基準以下の建物がほとんどを占めたため、教室棟の一部391㎡を除きその他は建て替えとなった。

平成29年12月定例会における審議結果表

議案等番号	案 件	結 果
議 案 第 5 7 号	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度山鹿市一般会計補正予算(第4号))	承 認
議 案 第 5 8 号	山鹿市税特別措置条例の一部を改正する条例	可 決
議 案 第 5 9 号	山鹿市6次産業化・観光連携推進施設条例	可 決
議 案 第 6 0 号	平成29年度山鹿市一般会計補正予算(第5号)	可 決
議 案 第 6 1 号	平成29年度山鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可 決
議 案 第 6 2 号	平成29年度山鹿市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可 決
議 案 第 6 3 号	平成29年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可 決
議 案 第 6 4 号	平成29年度山鹿市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可 決
議 案 第 6 5 号	平成29年度山鹿市水道事業会計補正予算(第1号)	可 決
議 案 第 6 6 号	平成29年度山鹿市病院事業会計補正予算(第3号)	可 決
議 案 第 6 7 号	平成29年度山鹿市下水道事業会計補正予算(第1号)	可 決
議 案 第 6 8 号	公の施設の指定管理者の指定について(山鹿市薄尾斎場)	可 決
議 案 第 6 9 号	公の施設の指定管理者の指定について(山鹿市一本松農村公園)	可 決
議 案 第 7 0 号	公の施設の指定管理者の指定について(山鹿市矢谷深谷キャンプ場(キャンプ場及びテント村))	可 決
議 案 第 7 1 号	公の施設の指定管理者の指定について(山鹿市矢谷深谷キャンプ場(奥矢谷深谷ざりり))	可 決
議 案 第 7 2 号	公の施設の指定管理者の指定について(山鹿市岳間深谷キャンプ場)	可 決
議 案 第 7 3 号	公の施設の指定管理者の指定について(山鹿市さくら湯)	可 決
議 案 第 7 4 号	公の施設の指定管理者の指定について(山鹿バスセンター(待合所棟))	可 決
議 案 第 7 5 号	公の施設の指定管理者の指定について(山鹿バスセンター(物販棟))	可 決
議 案 第 7 6 号	公の施設の指定管理者の指定について(八千代座等)	可 決
議 案 第 7 7 号	公の施設の指定管理者の指定について(山鹿市カルチャースポーツセンター)	可 決
議 案 第 7 8 号	公の施設の指定管理者の指定について(山鹿市民プール)	可 決
議 案 第 7 9 号	山鹿市過疎地域自立促進計画の変更について	可 決
議 案 第 8 0 号	人権擁護委員の推薦について	同 意
議 案 第 8 1 号	農業委員会委員の任命について	同 意
議 案 第 8 2 号	農業委員会委員の任命について	同 意
議 案 第 8 3 号	農業委員会委員の任命について	同 意
議 案 第 8 4 号	農業委員会委員の任命について	同 意
議 案 第 8 5 号	農業委員会委員の任命について	同 意
議 案 第 8 6 号	農業委員会委員の任命について	同 意
議 案 第 8 7 号	農業委員会委員の任命について	同 意
議 案 第 8 8 号	農業委員会委員の任命について	同 意
議 案 第 8 9 号	農業委員会委員の任命について	同 意
議 案 第 9 0 号	農業委員会委員の任命について	同 意
議 案 第 9 1 号	農業委員会委員の任命について	同 意
議 案 第 9 2 号	農業委員会委員の任命について	同 意
議 案 第 9 3 号	農業委員会委員の任命について	同 意
議 案 第 9 4 号	農業委員会委員の任命について	同 意
意 見 書 案 第 3 号	道路整備事業予算の総額確保等に関する意見書	可 決

上記の案件は全会一致で審議結果表のとおりとなりました。

【主な議案】

議案第60号

平成29年度

山鹿市一般会計補正予算(第5号)

・障害児通所等給付費

3156万5千円

児童発達支援・放課後デイサービス等の療育支援対象者及び利用件数の増加

・子ども医療費助成事業

1850万円

子ども医療に係る利用件数の増加

・農産物生産振興事業

590万7千円

県地域特産物産地づくり支援対策事業を活用し、生産・加工設備導入・高収益作物等への転換支援

・外国語指導助手業務

債務負担行為の限度額の変更

1076万千円より

1694万2千円へ

学習指導要領の改訂により「外国語活動」の授業数の増加・助手の増員



議会の主な動き

10月	4日(水)	議会運営委員会行政視察(～5日)
	6日(金)	広報委員会
	7日(土)	山鹿市ふれあいピック第13回大会
	12日(木)	熊本県市議会議長会正副議長会
	17日(火)	全員協議会
	21日(土)	第22回山鹿消防フェスティバル
	24日(火)	百歳到達者表敬訪問
	25日(水)	森林・林業・林産業活性化九州大会(～26日)
	27日(金)	鹿本高等学校創立120周年・統合50周年記念式典 城北高等学校創立50周年記念式典
	28日(土)	風ぐるまフェスタ2017高梁市交流会(～29日)
11月	29日(日)	鹿北茶山唄全国大会 鹿央ふるさと祭り
	1日(水)	全国広域連携市議会協議会理事会(～2日)
	6日(月)	熊本県後期高齢者医療広域連合議会
	8日(水)	全国市議会議長会評議員会 全国温泉所在都市議会議長協議会役員会
	9日(木)	2017新シルク蚕業サミットinやまが
	10日(金)	鹿本商工高等学校創立50周年記念式典
	11日(土)	山鹿市青少年健全育成大会
	15日(水)	全国市議会議長会研究フォーラム(～16日) 熊本県防災・危機管理トップセミナー
	17日(金)	建設経済常任委員会
	18日(土)	かほくまつり(～19日)
	20日(月)	市民福祉常任委員会
	22日(水)	議会運営委員会
	23日(木)	山鹿温泉祭「御幸式」
	24日(金)	赤穂市・山鹿市文化交流展開会式
	26日(日)	山鹿温泉大餅投げ
	28日(火)	百歳到達者表敬訪問
	30日(木)	12月定例会開会・全員協議会
12月	3日(日)	やまが人権フェスティバル
	6日(水)	12月定例会質疑・一般質問
	7日(木)	12月定例会質疑・一般質問 広報委員会
	8日(金)	建設経済常任委員会
	11日(月)	市民福祉常任委員会
	12日(火)	総務文教常任委員会
	13日(水)	議会運営委員会 防衛セミナー
	15日(金)	12月定例会閉会・全員協議会
	17日(日)	山鹿市駅伝大会
	26日(火)	百歳到達者表敬訪問
	28日(木)	年末警戒

行政視察

ようこそ山鹿市へ

10月 2日 群馬県富岡市	新養蚕産業構想について
10月10日 静岡県伊豆市	中心市街地大衆浴場「さくら湯」の復興、芝居小屋の観光活用について
10月31日 鹿児島県日置市	認知症等支援事業・市民後見人推進事業について
11月 1日 兵庫県赤穂市	さくら湯再生事業について・認知症支援体制構築事業について
11月 7日 兵庫県福崎町	一般廃棄物処理施設について
11月13日 鹿児島県湧水町	学力向上対策について特色ある教育の展開について不登校、いじめ対策等について
11月15日 佐賀県神埼市	旧庁舎を利用した取り組みについて
11月20日 千葉県野田市	インクルーシブ教育システムについて

【人事案件】

＜人権擁護委員＞

市長から提出された「人権擁護委員の推薦」については、次のとおり同意しました。

山鹿市鹿北町 齊藤 順孝氏

＜農業委員会委員＞

市長から提出された「農業委員会委員の任命」については、次のとおり同意しました。

山鹿市鹿本町 隈部 誠一氏
 山鹿市山鹿 阿蘇品 幸博氏
 山鹿市寺島 下田 幸夫氏
 山鹿市鍋田 坂本 照子氏
 山鹿市方保田 長曾我部 徹氏(新任)
 山鹿市久原 竹下 輝明氏(新任)
 山鹿市鹿北町 稲葉 和弘氏
 山鹿市鹿北町 廣松 久喜氏
 山鹿市鹿本町 守川 千穂氏
 山鹿市方保田 若杉 史氏
 山鹿市鹿央町 廣田 幸徳氏(新任)
 山鹿市菊鹿町 米岡 一利氏
 山鹿市鹿央町 森 利光氏(新任)
 山鹿市菊鹿町 栗原 政数氏

編集後記

NHK大河ドラマ「西郷どん」が始まりましたね。山鹿も西南戦争の舞台となり、激戦が繰り広げられました。市内にも史跡が数多く残っています。

今を去ること141年前、陸軍少将・三浦梧楼の率いる官軍と、桐野利秋の薩軍や熊本協同隊などが鍋田の地で衝突して「山鹿口の戦い」が始まりました。

その間、熊本協同隊の協力により、ここ山鹿では普通選挙による「日本初の民権政治」が、僅かな期間ながら行われたのです。

第4期目の山鹿市議会が発足して1年が経ちました。先人たちの住民自治にかける熱い思いを我々も継承しつつ、より良い市政の実現に向けて市民の皆様と議会を結ぶため、これからも「やまが市議会だより」を届けて参ります。

広報委員 立山大二朗



民権政治の舞台(山鹿市下町の光寺楼門)